

NO		項目	質問	回答
1	調査全般		この調査の目的は何か。	我が国の産業部門・業務部門におけるエネルギー消費実態を産業別、都道府県別に把握し、エネルギー・環境政策の企画・立案を図るための基礎資料を得ることを目的としています。
2	調査全般		この調査の結果は、何に使われるのか。	本調査の結果は、業種や地域別に集計を行い、より効果的で実態に即したエネルギー施策を立案・策定するための基礎資料とします。
3	調査全般		調査票への記入内容が、公表、漏洩することはないか。	本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく「一般統計調査」です。本調査により申告された記入内容は、「統計法」によって保護されています。したがって、徴税事務などに使用されることはありません。また、エネルギーの種類、業種、都道府県別の集計結果は公表しますが、個別の事業所・企業の数値や調査票をご記入いただいた方のお名前、ご所属などの個人情報について公表されることはありません。
4	調査全般		なぜ当社（当事業所）が調査対象に選ばれたのか。	調査対象事業所は、総務省「事業所母集団データベース（平成30年次フレーム）」などを基に、従業者数100人（製造業は50人）以上の事業所、および前年度調査までの結果を基に作成した自家発電設備名簿に登載されている事業所（常用自家発電設備を所有または管理していると回答した事業所）は、原則、全事業所を対象としています。
5	調査全般		この調査の対象事業所のリストの出所はどこか。	総務省「事業所母集団データベース（平成30年次フレーム）」などの調査名簿が基になっています。
6	調査全般		この調査の結果は、公表されるのか。それはいつになるのか。	本調査の結果は、資源エネルギー庁のホームページ上で公表されます。公表時期は、令和3年3月末頃を予定しています。
7	調査全般		当方は、（個人経営などの）ごく小規模な事業所なので、調査対象からはずして欲しい。	本調査は、エネルギー問題や環境問題への対応が重視されるなかで、よりの確なエネルギー政策を企画・立案するための重要な統計調査であるので、ぜひ回答いただきますようご協力をお願いします。
8	記入にあたって		どこで使用したエネルギーを回答するのか。	調査票1ページのA3（調査対象）に印字しているビル・施設（「」で囲まれているもの）が、今回の調査における『調査対象』です。回答は、この『調査対象』のビル・施設全体で使用したエネルギー量について記入してください。また、『調査対象』が管理する屋外の作業・操業現場や無人の施設・設備で使用したエネルギー量がある場合は、合算して記入してください。
9	記入にあたって		調査票が複数枚届いたが、どうしたらよいか。	本調査はA3（調査対象）に印字しているビル・施設（「」で囲まれているもの）ごとの調査のため、ビル・施設ごとに調査票の記入をお願いします。記入した調査票は、1つの返信用封筒に同封して返送してください。1つの返信用封筒への同封返送が難しい場合は、複数の返信用封筒に分けて返送いただいても差し支えありません。
10	記入にあたって		この調査では、どのような燃料を記入するのか。	化石燃料（重油、灯油、都市ガスなど）の他に、エネルギーとして利用している廃材（廃タイヤ、廃プラスチック、木くずなど）も記入してください。
11	記入にあたって		エネルギー消費量や支払い金額が分からない項目は、どのように記入すればよいか。	エネルギー消費量を管理されている方に照会いただくか、または燃料の購入先からの領収書、請求書、払込書などを参照し、記入してください。
12	記入にあたって		記入内容を間違えてしまった。	二重線で消して修正してください。修正液や修正テープなどで修正していただいても差し支えありません。
13	記入にあたって		調査対象期間（H31.4.1～R02.3.31）での値を記入できない。	調査対象期間を含む直近の周期での値を記入してください。そのうえで、調査票1ページ下にある備考欄に、記入した値の期間とその理由を記入してください。（例）「12月決算のため、エネルギー消費量は平成31年1月から令和元年12月の12か月分の値を記入」
14	A3		全国に支社・支店・営業所・出張所などがあるが、どのように記入すればよいか。	お手元の調査票1ページのA3『調査対象』に印字しているビル・施設（「」で囲まれているもの）についてのみ記入してください。

NO	項目	質問	回答
15	A3	合併（被合併）したが、どのように回答すればよいか。	エネルギー消費量は、調査対象期間での値（合併前と合併後の使用量の合算値）を記入してください。そのうえで、調査票1ページ下にある備考欄に、合併（被合併）年月日を記入してください。
16	A3	廃業（休業）したが、送り返す必要はあるか。	調査票1ページ下にある備考欄に廃業（休業）年月日を記入のうえ、返送してください。また、調査対象期間中に廃業（休業）し、廃業（休業）までのエネルギー消費実績がある場合は、期間とエネルギー量も記入してください。
17	A3	会社分割し、新会社となったが、どのように回答すればよいか。	調査対象期間でのエネルギー消費量を記入してください。 A3『調査対象』に印字している情報に変更がある場合は、修正理由フラグ「その他」にチェック（✓を記入）し、調査票1ページ下にある備考欄に「会社分割のため」と記入のうえ、新しい商号または所在地に修正してください。
18	A3	法人番号がわからない。	国税庁のウェブサイト（国税庁法人番号公表サイト）でお調べいただけます。 なお、A3『調査対象』の企業名「ビル名・施設名」が、カギカッコ（「」）で囲まれたビル名のみ印字されている（企業名が印字されていない）場合は、空欄のままで差し支えありません。
19	C	「共用部」と「テナント使用分」を明確に区分することが難しい。どうしたらよいか。	明確に区分できない部分については、すべて「テナント使用分」に含めて記入してください。
20	C1	『調査対象』のビル・施設以外を含めた形でしか、エネルギー消費量を記入できない。	C1（回答に含めるビル・施設）に回答に含めるすべてのビル・施設の名称、範囲（「全体」、「〇階～◇階／△階建」など）、所在地、使用形態を記入のうえ、『調査対象』およびそれ以外のビル・施設の合算でのエネルギー消費量などをC2（延べ床面積）～C7（回答の範囲）に記入してください。
21	C1	『調査対象』のビル・施設全体でのエネルギー消費量を記入できない。	C1（回答に含めるビル・施設）に回答可能なビル・施設の名称、範囲（「〇階～◇階／△階建」など）、所在地、使用形態を記入のうえ、C2（延べ床面積）～C7（回答の範囲）について回答することが出来る範囲でのエネルギー消費量を記入してください。
22	C1	使用形態に2つあてはまるものがあるが、どう選択すればよいか。	1つの建物で複数の使用形態がある場合は、エネルギー消費割合の高いものを1つ選択してください。
23	C2	駐車場も含めるのか。	回答に含めるビル・施設内にある駐車場のエネルギー消費量は、合計に含めて記入してください。ただし、屋外の平面駐車場の面積は、延べ床面積には含めないでください。
24	C3	購入電力量について、「自ら使用分」～「テナント使用分」を明確に区分することが難しい。	C2（延べ床面積）の床面積比で按分して記入してください。 按分が難しい場合は、該当する欄に「不明」と記入してください。
25	C4	「発電用ボイラ」とは何のことか。	各種の燃料を消費することにより蒸気を発生し、その蒸気を（蒸気タービンを用いて）発電に利用することを目的としたボイラのことをいいます。 ※発電に利用しない蒸気を発生するためのボイラは該当しません。
26	C4	「コージェネレーション」とは何のことか。	各種の燃料を消費することにより発電を行い、さらに、発電の過程で発生する排熱を利用して蒸気や温水を発生させ、利用する「熱電併給システム」のことをいいます。 ※エンジン、ガスタービン、燃料電池などを使った発電のうち、発電の際の排熱を利用しているものは「コージェネレーション」として扱います。
27	C4 C5	「排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電」とは何のことか。	各種の燃料を消費し、エンジン、ガスタービン、燃料電池などを用いて発電するもののうち、発電の際の排熱を利用していないもののことをいいます。 ※排熱を利用しているものは「コージェネレーション」に該当します。

NO	項目	質問	回答
28	C4	「発電用ボイラ」を使用しているが、記入方法が分からない。	【手順①：燃料消費量を記入（C4）】 ・「㉔発電用ボイラ（汽力発電）」欄の□にチェック（✓を記入）し、発電用ボイラへの投入燃料量を記入してください。 ・「㉔発電用ボイラ（汽力発電）」欄に記入する値は、「㉔自ら使用分」の内数としてください（㉔自ら使用分≧㉔発電用ボイラ（汽力発電）） 【手順②：発電量を記入（C5）】 ・C5（自家発電）-①で「はい」を選択してください。 ・C5（自家発電）-②の「ボイラ発電（汽力発電）」欄で稼働状況を選択し、発電量を「発電量計」欄に記入してください。 ・発電量の内訳を、「自ら使用分」「共用部」「テナント使用分」「回答に含めないビル・施設への販売・払出量」に分けて記入してください。 ・自家発電による電力を『調査対象』以外へ販売・払出をしている場合は、販売・払出量を「回答に含めないビル・施設への販売・払出量」欄に記入してください（対価の受取の有無は問いません） 【手順③：発生した蒸気を記入（C6）】 ・ボイラから発生した蒸気の全量を「㉔自ら発生・回収量」欄に記入してください。 ・発生した蒸気のうち、自家発電に消費した量を「㉔自家発電用」欄に記入してください。 ・発生した蒸気の総量のうち、発電用以外に消費した蒸気量は、用途に応じて「㉔温水・冷水発生用及び自家発電用以外」「㉔温水・冷水発生用」「㉔回答に含めないビル・施設への販売・払出量」を記入してください。 ※「㉔購入・受入量+㉔自ら発生・回収量=㉔温水・冷水発生用及び自家発電用以外+㉔温水・冷水発生用+㉔自家発電用+㉔『調査対象事業所』以外への販売・払出量」の等式が成り立つように記入してください。
29	C4	「コジェネレーション」を使用しているが、記入方法が分からない。	【手順①：燃料消費量を記入（C4）】 ・「㉔コジェネレーション」欄の□にチェック（✓を記入）し、コジェネレーションへの投入燃料量を記入してください。 ・「㉔コジェネレーション」欄に記入する値は、「㉔自ら使用分」の内数としてください（㉔自ら使用分≧㉔コジェネレーション） 【手順②：発電量を記入（C5）】 ・C5（自家発電）-①で「はい」を選択してください。 ・C5（自家発電）-②の「コジェネレーション」欄で稼働状況を選択し、発電量を「発電量計」欄に記入してください。 ・発電量の内訳を、「自ら使用分」「共用部」「テナント使用分」「回答に含めないビル・施設への販売・払出量」に分けて記入してください。 ・自家発電による電力を『調査対象』以外へ販売・払出をしている場合は、販売・払出量を「回答に含めないビル・施設への販売・払出量」欄に記入してください（対価の受取の有無は問いません） 【手順③：発生した蒸気または温水を記入（C6）】 ・コジェネレーションから発生した蒸気または温水の全量を「㉔自ら発生・回収量」欄に記入してください。 ・発生した蒸気または温水の消費用途に応じて、「㉔温水・冷水発生用及び自家発電用以外」～「㉔『調査対象事業所』以外への販売・払出量」欄に記入してください。 ※「㉔購入・受入量+㉔自ら発生回収量=㉔温水・冷水発生用及び自家発電用以外+㉔温水・冷水発生用+㉔自家発電用+㉔『調査対象事業所』以外への販売・払出量」の等式が成り立つように記入してください。
30	C4	「排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電」を使用しているが、記入方法が分からない。	【手順①：燃料消費量を記入（C4）】 ・「㉔排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電設備」欄の□にチェック（✓を記入）し、当該設備への投入燃料量を記入してください。 ・「㉔排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電設備」欄に記入する値は、「㉔自ら使用分」の内数としてください（㉔自ら使用分≧㉔排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電設備） 【手順②：発電量を記入（C5）】 ・C5（自家発電）-①で「はい」を選択してください。 ・C5（自家発電）-②の「排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電」欄で稼働状況を選択し、発電量を「発電量計」欄に記入してください。 ・発電量の内訳を、「自ら使用分」「共用部」「テナント使用分」「回答に含めないビル・施設への販売・払出量」に分けて記入してください。 ・自家発電による電力を『調査対象』以外へ販売・払出をしている場合は、販売・払出量を「回答に含めないビル・施設への販売・払出量」欄に記入してください（対価の受取の有無は問いません）
31	C4	給湯用、厨房用、殺菌用などに用いるボイラがあるが、どのように記入すればよいか。	（給湯・厨房・殺菌用などの）ボイラでの燃料消費量は、C4（燃料消費）欄の燃料別に「㉔自ら使用分」「㉔共用部」「㉔テナント使用分」に記入し、「㉔自ら使用分」と「㉔共用部」と「㉔テナント使用分」とを足した値を「㉔合計」欄に記入してください。
32	C4	（各種の設備を用いて）直接温水や冷水を発生しているが、記入方法を教えてほしい。 ※各種の設備例 ・ヒートポンプ式給湯器 ・ターボ冷凍機 ・ガス吸収式冷凍機 ・エコキュート ・エコアイス ・チリングユニット	C3（購入電力）欄に、ヒートポンプ方式の設備での電力消費量について、「合計」欄に含めて記入してください。 記入値は「㉔合計」＝「㉔自ら使用分」＋「㉔共用部」＋「㉔テナント使用分」となるようにしてください。 C4（燃料消費）欄に、ヒートポンプ方式の設備での燃料消費量について、各燃料の「合計」欄に含めて記入してください。 記入値は「㉔合計」＝「㉔自ら使用分」＋「㉔共用部」＋「㉔テナント使用分」となるようにしてください。 直接温水や冷水を発生する設備に加え、発電用ボイラ、コジェネレーション、排熱回収ボイラのいずれかの使用がある場合のみ、C6（熱源）を記入してください。 いずれかの使用がなければ、C6欄は「いいえ」を選択してください。

NO	項目	質問	回答
33	C4	屋外の現場や無人の施設での燃料消費量は、回答に含めるのか。	燃料を消費している屋外の作業・操業現場や無人の施設・設備をA3『調査対象』欄の企業・団体様で管理されている場合は、各燃料の「合計」および「自ら使用分」に含めて記入してください。
34	C4	(屋外の) 工事現場で運搬用車両(ナンバープレートあり)や建設機械(ブルドーザ、クレーン車など)を使用しているが、それらの燃料消費量は記入するのか。	(屋外の) 工事現場で使用している運搬用の車両や各種の建設機械・車両での燃料消費量は、回答に含めて記入してください。 また、(屋外の) 工事現場で消費した自家発電量や購入電力量も、回答に含めて記入してください。
35	C5	複数の自家発電設備を保有しているが、発電量はどのように回答するのか。	C5(自家発電)-②で、自家発電設備の種類別に稼働状況を選択し、発電量を記入してください。
36	C5	屋外の作業・操業現場や無人の施設・設備での自家発電量は、含めるのか。	自家発電を行っている屋外の作業・操業現場や無人の施設・設備をA3『調査対象』欄の企業・団体様が所有または管理されている場合は、発電量を「発電量計」および「自ら使用分」に含めて記入してください。
37	C5	「回答に含めないビル・施設以外への販売・払出量」には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設以外の建物などへ、自家発電による電力を供給している場合のみ、その販売・払出量を記入してください。
38	C5	常時稼働の自家発電設備が故障したため、1年未満の稼働だった場合、稼働状況は何を選択すればよいのか。	稼働状況は「1. 常用(稼働あり)」を選択してください。 発電量は稼働による発電量の合計を記入してください。
39	C5	自家発電設備はあるが、燃料消費も発電量もゼロだが、記入は必要か。 ※『調査対象』で自家発電設備を所有または管理しているが、調査対象期間中での運転がなかった場合	調査対象期間(H31.4.1~R02.3.31)内にまったく運転されず、燃料消費量、発電量ともにゼロの自家発電設備についても、記入してください。 記入の際には、C5(自家発電)-②の稼働状況で「2. 常用(定期点検のみ、または1年に一度も稼働なし)」または「4. 非常用(定期点検のみ、または1年に一度も稼働なし)」を選択してください。なお、発電量計欄は空欄で結構です。
40	C5	常用の自家発電設備による発電量は把握しているが、非常用の自家発電量は把握していない。どのように回答すればよいのか。	C5(自家発電)-②で、自家発電設備の種類別に稼働状況を選択し、発電量を記入してください。 非常用発電設備の自家発電量を把握していない場合は、当該発電設備の発電量欄に「不明」と記入してください。
41	C6	「④購入・受入量」の欄には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設が、外部の他者(熱供給事業者など)から熱源の供給を受けている場合に、その供給量を記入してください。
42	C6	「⑥自ら発生・回収量」の欄には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設内で、発電用のボイラ、コージェネレーション、排熱回収ボイラのいずれかを使用している場合に、発生した蒸気または温水について、その発生量を記入してください。 また、発生した蒸気や温水を変換し、温水や冷水を発生・回収した場合は、発生・回収した温水や冷水の量を記入してください。
43	C6	「⑦温水・冷水発生用及び自家発電用以外」の欄には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設内で消費された熱量のうち、温水や冷水の発生用に用いた熱量と自家発電用に用いた熱量を除いた熱量を記入してください。
44	C6	「⑧温水・冷水発生用」の欄には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設内で消費された熱量のうち、温水や冷水の発生用に用いた熱量を記入してください。 蒸気や温水を熱源として温水や冷水を発生していない場合は、記入は不要です。
45	C6	「⑨自家発電用」の欄には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設内で消費された熱量のうち、自家発電用に用いた熱量を記入してください。
46	C6	「⑩回答に含めないビル・施設への販売・払出量」の欄には、何を記入するのか。	C1(回答に含めるビル・施設)で記入したビル・施設以外の建物へ熱源の供給を行っている場合のみ、その販売・払出量を記入してください。

N0	項目	質問	回答
47	C6	(単位の欄にある)「GJ」とは、何のことか。	「ギガ・ジュール」と読むもので、熱の量を表す単位です。 ※10億(10の9乗)ジュール。1ジュール≒0.239カロリー。
48	C6	水道水は熱源に含むのか。	熱源の温水、冷水は、水道から出る「お湯」や「冷たい水」のことではありませんので、含めないでください。
49	C7	「屋外の作業・操業現場」とは、どのようなものをいうのか。	「屋外の作業・操業現場」とは、建設業や農林水産業の方の場合の建設現場や作業・操業現場のことをいいます。
50	C7	「無人の施設・設備」とは、どのようなものをいうのか。	「無人の施設・設備」とは、人が常駐していない施設・設備のことで、例えば倉庫、工場における各種の付随施設、監視施設・設備のことをいいます。